

科学放送局も予定されている民間放送局の動向

現在電波庁に民間放送局の設定を申請しているものは50以上にのぼっているが、何れが許可され実現するか いまだ法令の整備もできていないので予断することはできない。またこれ等個々について詳しい説明は限られた紙面では無理であるから、その代表的のものにつき概略、説明をしましょう。

国民放送 これは内容は一般放送であるが設備としてはNHKの第二放送施設をそのまま利用して放送するという特別のものである。

東京放送(電通) 朝日放送(朝日) ラジオ日本(毎日) 読売放送(読売)等 それぞれ有力新聞通信社を背景とするもので、ニュース、ニュース解説ではNHKも及ばない速い活きたものが放送される。

セントポール放送 根底はキリスト教的論理に基き新しい民主的なもので、欧洲文明を日本古来の文化の中に交流させて行くといった六ヶ敷^{むつかし}希望を持っており、エロ・グロ・反宗教思想などは排撃する。

仏教放送 仏教専門の放送である

ラジオ時計放送 時刻のみ常時知らせるものである。

日本放送 日本野球連盟を母体とするもので、スポーツ殊に野球実況を主として放送するものである。

日本経済放送 主として証券の取引状況を放送するものである。

日本科学放送 これは将来わが国を共和国家、文化国家に建設する人達としての卵である科学技術に最大の関心と欲求を持っている。本誌の読者が関心を持つもの。また詳しく知りたいと思われるであろうものからその放送内容を詳細に紹介することとする。

日本科学放送局の放送内容

(I)一般的、教育的、啓蒙的放送 科学のいろいろの分野について系統立った連続講座で、その初級は、将来文化国家平和国家の建設を担う少年児童の旺盛な科学と技術への知識欲に応えるもの。中級は、中等高校の学徒を目標とする教育講座と一般国民の科学知識及び技術知識の育成を目的とする社会教育及び啓蒙講座である。

なお先進国に較べて甚しい遜色のある、わが国の家庭婦人を対象とし、材料を

日常生活の実際面にとり、科学的の觀方、考え方と技術的取扱いの知識を与えるためのもの。即ち、衣食住、医療や衛生に關係ある生活科学的な講座が加えられる。

(II) 特殊的、専門的、研究的放送 専門の学徒及び技術者を対象とし、いろいろの分野について連続的あるいは単独のものである。

(III) 官公署放送 科学、技術に関する官庁方面からの取材で科学に関する法規、学術会議、審議会、委員会などの決定事項、国家の援助補助による研究の成果などとなる。

(IV) ニュース、レポート 学会、講演会、その他の催物、新しい科学界の活躍、新研究の成果、世界科学界の動向と解説、科学界の人事往来等。

(V) 現場放送 学会討論会、新学説の発表会、あらゆる種類の工場、農場、漁村、研究所、病院その他、理・工・農・医に亘ってそのあらゆる活動状況現場から実況を中継放送するか、あるいは録音放送である。

(VI) 希望放送 聴取者の希望によって特に編成するものと、青少年、一般国民、専門店の希望によって、科学技術に関する種々多様なものか、あるいは系統だった、または科学学会のような仕組のものなどの放送である。

(VII) 関連事項放送 主題が科学技術ではないが、その中に科学技術に関する啓蒙性を多く持つもので、生活に関するもの。科学技術者を主題とするドラマ・物語・音楽・映画などある、等がその内容です。 (国米藤吉)

PDF化にあたって

本PDFは、

『無線と実験』1950年5月号

を元に作成したものである。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新

(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館

(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>)

に収録してある。参考にしてほしい。